

教育目標

夢を一緒にかなえよう  
～気付き・考え・高め合う～

# ひまわり



住所：〒893-0057 鹿児島県鹿屋市今坂町12560-2

電話：0994-44-8725 FAX：0994-40-1220

HP：[//www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html](http://www.edu-kanoya.net/edu/nishiharadai/es/index.html)

## 「校歌」に込められた思い

校長 田中 雄志

2月16日は、西原台小学校の「校歌」の誕生日でした。西原台小は、昭和54年4月1日に開校していますが、西原台小の校歌は、昭和55年2月16日に制定され、昭和55年3月14日に校歌の発表会が開催されたと記録に残されています。学校に残されている「校旗・校歌制定に関する記録史」によると、校歌の歌詞は、応募作品点数12点の中から、鹿屋市の橋口正則（はしぐち まさのり）さんの作品が選ばれたとあります。また、作曲者は、鹿児島市の兼廣晟史（かねひろ あきふみ）さんとなっています。

校歌はどの学校にもあるものですが、その学校がある土地の自然や歴史、文化、学校の特色などを歌詞にしていることが多いものです。それから、どんな子どもになってほしいかという、目標や希望、目指す子どもの姿などを歌詞にしている場合も多いです。



西原台小の校歌の3番は、次のような歌詞になっています。

最初には「風雪耐えて 育つ芽は 日本のおすをよぶ力」とあります。木や花は、厳しい寒さや冷たさにじっと耐えるからこそ、春になって芽を出し、きれいな花を咲かせることができるのと同じように、人もうまくいかないことや嫌なことがあっても耐えたり乗り越えたりすることで、心が強く豊かになり、人として大きく成長することができることから、人として立派に成長して、そして日本の将来を背負って立ってほしいという願いが、ここには込められているように思います。

風雪耐えて 育つ芽は  
日本のおすを よぶ力  
強く 正しく たくましく  
心をみがき 身をきたえ  
はばたくわれら 西原台

真ん中には「強く 正しく たくましく」とあります。この言葉は、今では西原台小学校の校訓となっています。この校訓ができたのは、記録によると平成2年とありますので、西原台小学校の校訓はこの歌詞から生まれたということなるようです。

最後の歌詞は、「心をみがき 身をきたえ はばたくわれら 西原台」とあります。ここにも、強く正しくたくましく心と体を鍛え、人間として豊かに大きく成長して、世の中に羽ばたいてほしいとの願いが込められているように思います。

43年前、西原台小学校ができたときに関わった当時の多くの人々の願いを込めて、西原台小学校の校歌が誕生しました。創立期の西原台小を支えた先人達の思いをこれからも大事にしていきたいと思えます。